

株式会社ダイフク <6383>

平成28年3月期

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

決算説明資料

2016年5月12日

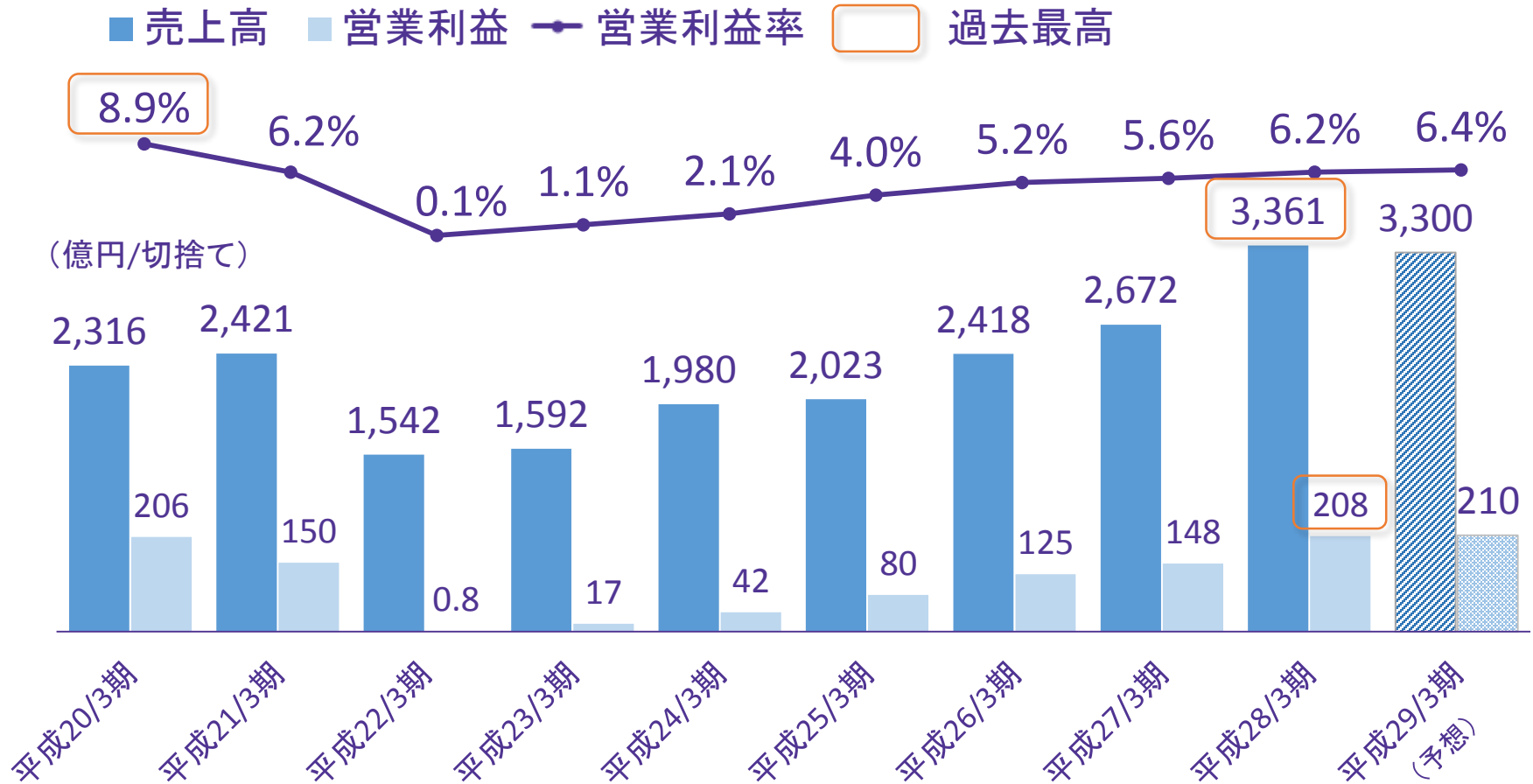


DAIFUKU

Always an Edge Ahead

■ 6年連続の増収増益

■ 受注・売上・営業利益・経常利益・純利益が過去最高更新



平成28年3月期業績(連結)

DAIFUKU

2

(億円/切捨て)

	平成27/3期	平成28/3期	対前年同期比
受注高	3,055.6	3,594.2	+17.6%
売上高	2,672.8	3,361.8	+25.8%
営業利益	148.8	208.7	+40.3%
経常利益	157.8	219.9	+39.4%
当期純利益 [※]	98.1	136.5	+39.2%
包括利益	135.9	77.8	▲42.8%

1株当たり 当期純利益(円)	88.59	118.72
-------------------	-------	---------------

※ 会計基準等の改正に伴い、平成28年3月期より「親会社株主に帰属する当期純利益」となりました。

豊富な受注量



流通・一般製造業向け

国内・アジア・北米が好調



半導体・液晶向け

国内・アジアが好調



自動車向け

北米が好調



空港向け

欧州で大型案件受注

売上の増加

- ・ダイフク単体
- ・アジアの半導体・液晶向け子会社

ダイフク単体の原価改善

増収・増益

(億円/切捨て)

	受注高 (外部顧客への受注高)		売上高 (外部顧客への売上高)		セグメント利益 (当期純利益)	
	平成27/3期	平成28/3期	平成27/3期	平成28/3期	平成27/3期	平成28/3期
ダイフク	1,370.1	1,421.3	1,150.6	1,449.8	70.4	84.6
コンテック	153.7	147.6	146.3	151.5	8.4	5.8
DNAHC※1	757.2	957.1	765.4	770.6	15.5	15.0
DPM※2	103.4	123.8	103.8	122.8	0.6	1.4
その他	671.1	944.2	542.3	817.9	40.6	32.3
連結調整等	-	-	▲35.7	48.9	▲37.5	▲2.8
合計 (調整後)	3,055.6	3,594.2	2,672.8	3,361.8	98.1	136.5

※1 **DNAHC** = **Daifuku North America Holding Company** (今期より名称を変更)

今期より、傘下の米国企業ののれんをDNAHCで償却(4億円)したため、セグメント利益減

※2 **DPM** = 株式会社ダイフクプラスモア (今期より追加)

連結貸借対照表

DAIFUKU

5

(億円/切捨て)

	平成27年 3月期	平成28年 3月期	増減額
流動資産	1,850.4	2,143.2	+292.8
現金及び預金	542.0	491.8	▲50.1
売上債権	960.5	1,312.9	+352.3
棚卸資産	245.3	220.9	▲24.3
その他	102.4	117.4	+14.9
固定資産	859.7	817.3	▲42.3
有形固定資産	346.7	328.8	▲17.9
無形固定資産	190.4	170.7	▲19.7
のれん	129.0	111.8	▲17.2
その他	61.4	58.9	▲2.4
投資その他の資産	322.5	317.7	▲4.7
資産合計	2,710.1	2,960.5	+250.4

	平成27年 3月期	平成28年 3月期	増減額
流動負債	938.5	1,150.3	+211.7
仕入債務	473.9	579.6	+105.7
短期借入金	129.0	87.0	▲42.0
その他	335.5	483.6	+148.0
固定負債	656.3	509.0	▲147.2
長期借入金・社債	476.4	322.0	▲154.4
その他	179.9	187.0	+7.1
負債合計	1,594.9	1,659.3	+64.4
株主資本	984.6	1,236.6	+251.9
資本金	80.2	150.1	+69.9
その他の包括利益累計額	93.2	33.8	▲59.4
非支配株主持分	37.2	30.6	▲6.6
純資産合計	1,115.2	1,301.1	+185.9
負債純資産合計	2,710.1	2,960.5	+250.4

連結キャッシュ・フロー計算書

DAIFUKU

6

(億円/切捨て)

	平成27/3期	平成28/3期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	62.9	72.0	+9.1
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲58.4	▲20.9	+37.4
フリー・キャッシュ・フロー	4.4	51.0	+46.5
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲5.0	▲87.0	▲81.9
現金及び現金同等物に係る 換算差額	21.7	▲14.0	▲35.7
現金及び現金同等物の増減額	21.0	▲49.9	▲71.0
現金及び現金同等物の期首残高	518.5	540.8	+22.2
連結の範囲の変更に伴う現金 及び現金同等物の増減額	1.1	-	▲1.1
現金及び現金同等物の期末残高	540.8	490.8	▲49.9

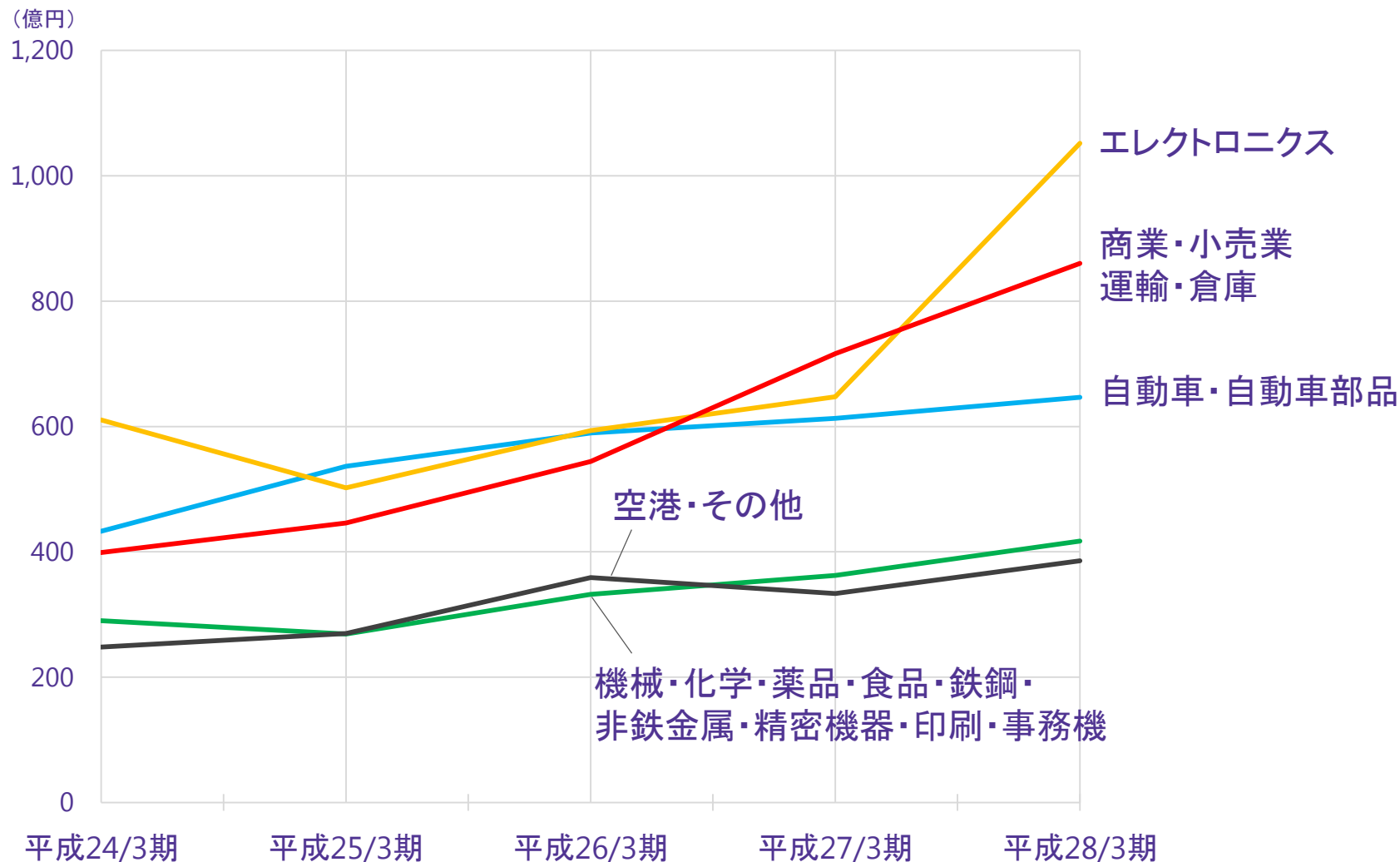
連結業種別受注高・売上高

DAIFUKU

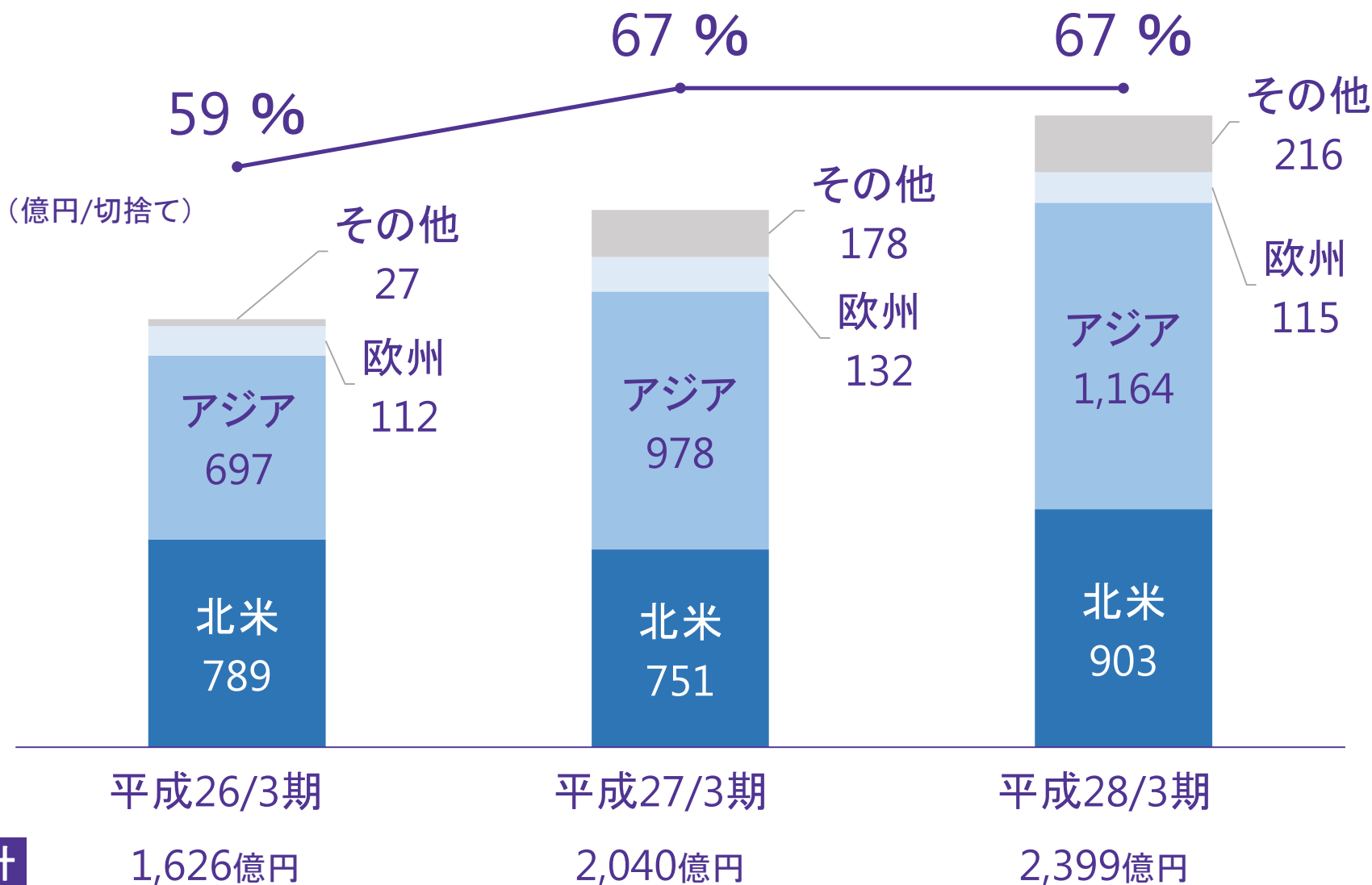
7

(億円/切捨て)

業種	受注高				売上高			
	平成27/3期		平成28/3期		平成27/3期		平成28/3期	
	受注高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
自動車および 自動車部品	653.9	21.4%	730.7	20.3%	612.9	22.9%	646.4	19.2%
エレクトロニクス	798.1	26.1%	1,117.4	31.1%	647.4	24.2%	1,051.8	31.3%
商業および 小売業	617.7	20.2%	600.2	16.7%	599.2	22.4%	646.8	19.2%
運輸・倉庫	173.2	5.7%	237.5	6.6%	116.9	4.4%	213.5	6.4%
機械	87.4	2.9%	95.9	2.7%	62.4	2.3%	91.0	2.7%
化学・薬品	195.6	6.4%	140.7	3.9%	126.7	4.7%	153.4	4.6%
食品	86.7	2.8%	147.4	4.1%	93.9	3.5%	94.8	2.8%
鉄鋼・非鉄金属	42.6	1.4%	40.9	1.1%	42.6	1.6%	38.9	1.2%
精密機器・ 印刷・事務機	35.3	1.2%	44.3	1.2%	36.9	1.4%	39.0	1.2%
空港	253.2	8.3%	288.1	8.0%	187.3	7.0%	276.6	8.2%
その他	111.4	3.6%	150.6	4.3%	146.2	5.6%	109.0	3.2%
合計	3,055.6	100.0%	3,594.2	100.0%	2,672.8	100.0%	3,361.8	100.0%



(%: 対受注高比率)



合計

海外地域別受注高

DAIFUKU

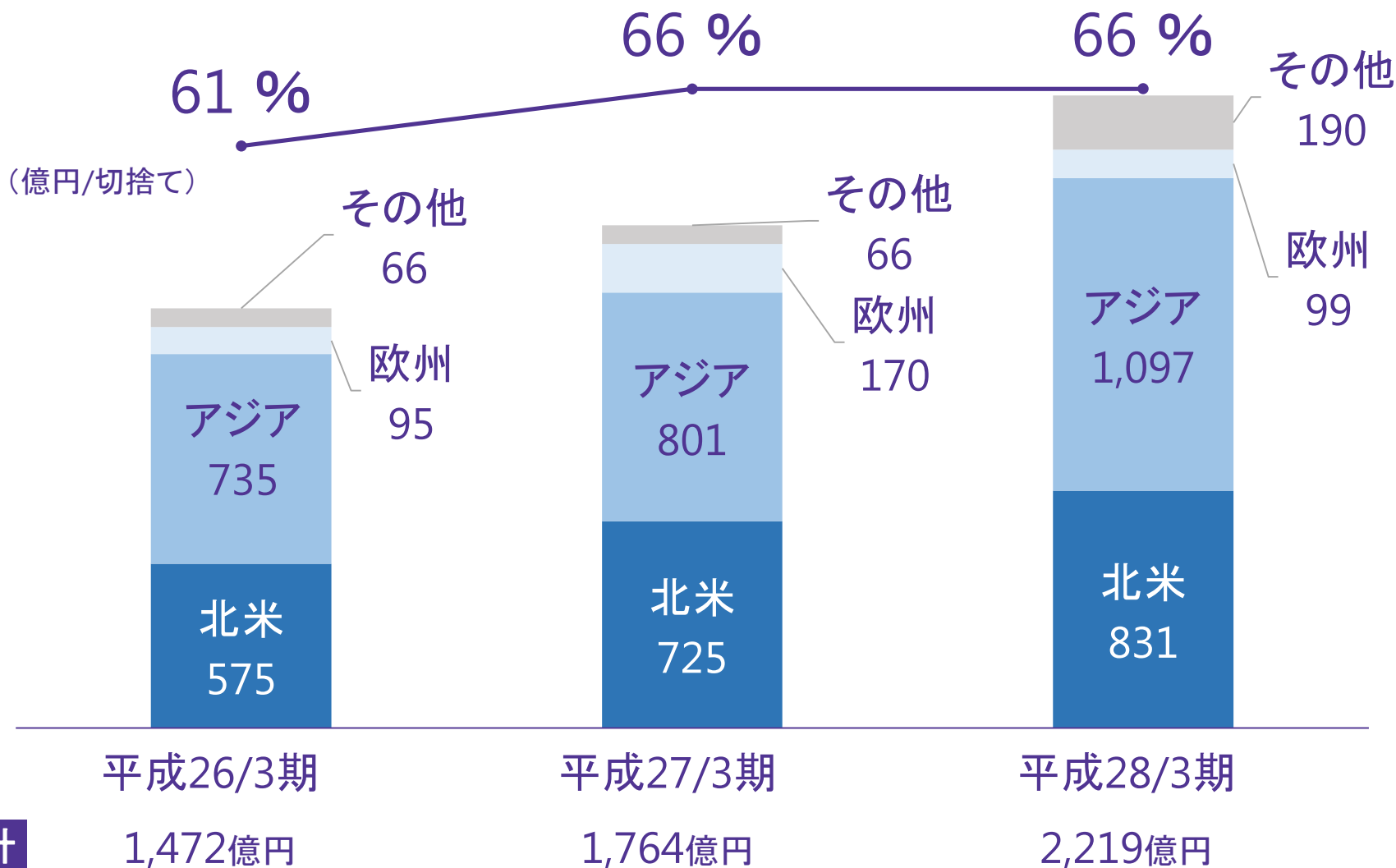
10

(億円/切捨て)

地区	国名	平成26/3期		平成27/3期		平成28/3期	
		受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比
北米		789.3	48.5%	751.8	36.8%	903.1	37.6%
アジア		697.4	42.9%	978.9	48.0%	1,164.2	48.6%
	中国	320.5	19.7%	289.3	14.2%	439.3	18.3%
	韓国	203.7	12.5%	398.1	19.5%	330.1	13.8%
	台湾	32.0	2.0%	173.2	8.5%	275.4	11.5%
	その他	141.0	8.7%	118.2	5.8%	119.2	5.0%
欧州		112.5	6.9%	132.0	6.5%	115.2	4.8%
中南米		11.0	0.7%	41.1	2.0%	73.1	3.0%
その他※		16.3	1.0%	137.0	6.7%	143.3	6.0%
合計		1,626.7	100.0%	2,040.9	100.0%	2,399.1	100.0%

※平成28年3月期より、空港向けシステムを扱うBCS社を連結し、主にオセアニアの受注が増加

(%: 対売上高比率)



合計

(億円/切捨て)

地区	国名	平成26/3期		平成27/3期		平成28/3期	
		売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
北米		575.6	39.2%	725.1	41.1%	831.7	37.6%
アジア		735.1	49.9%	801.9	45.5%	1,097.9	49.5%
	中国	283.5	19.3%	305.0	17.3%	395.8	17.9%
	韓国	222.8	15.1%	305.3	17.3%	344.5	15.6%
	台湾	77.0	5.2%	69.4	3.9%	233.7	10.5%
	タイ	74.6	5.1%	54.8	3.1%	39.9	1.8%
	その他	77.0	5.2%	67.3	3.9%	83.7	3.7%
欧州		95.4	6.4%	170.9	9.6%	99.2	4.4%
中南米		48.3	3.3%	44.8	2.5%	27.0	1.2%
その他※		18.0	1.2%	21.2	1.3%	163.6	7.3%
合計		1,472.6	100.0%	1,764.0	100.0%	2,219.6	100.0%

※平成28年3月期より、空港向けシステムを扱うBCS社を連結し、主にオセアニアの売上が増加

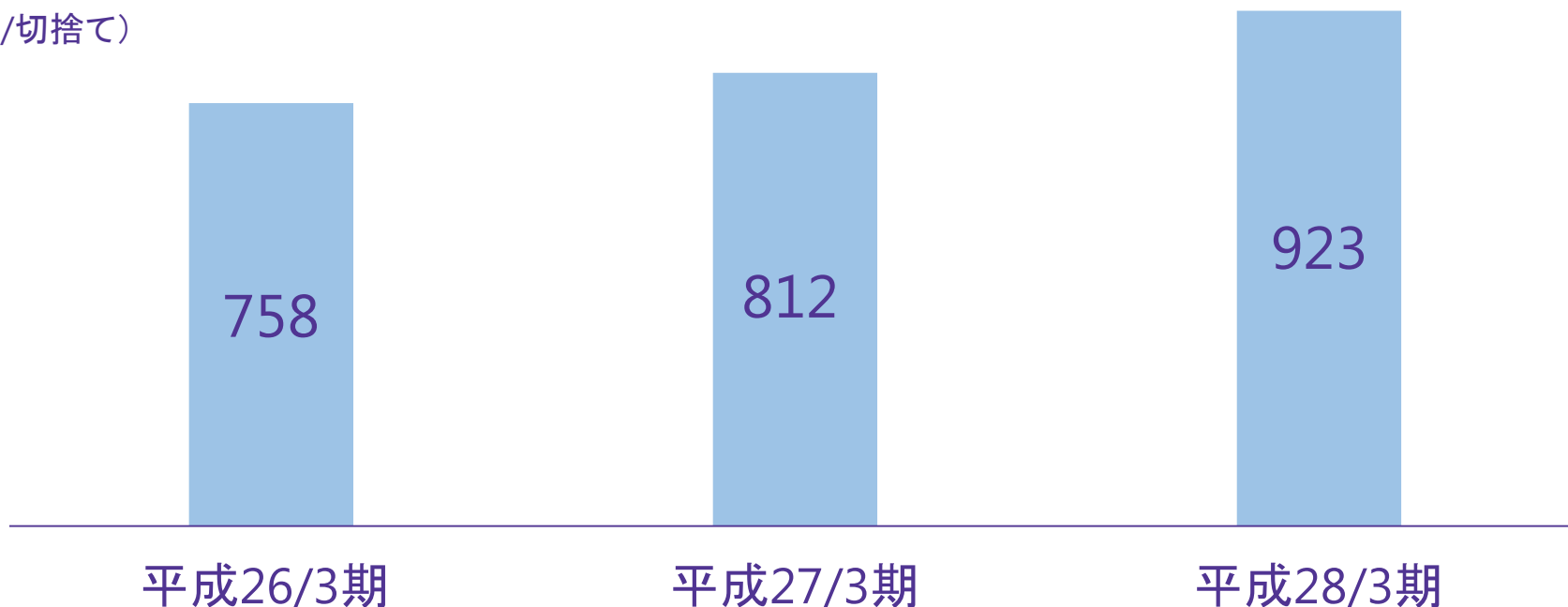
サービス売上高の推移

※サービス売上高：納入したシステム・製品を対象にした、保守・メンテナンス、リニューアル、改造工事などによる売上高

(%:対売上高比率)



(億円/切捨て)



対前年
成長率

29%

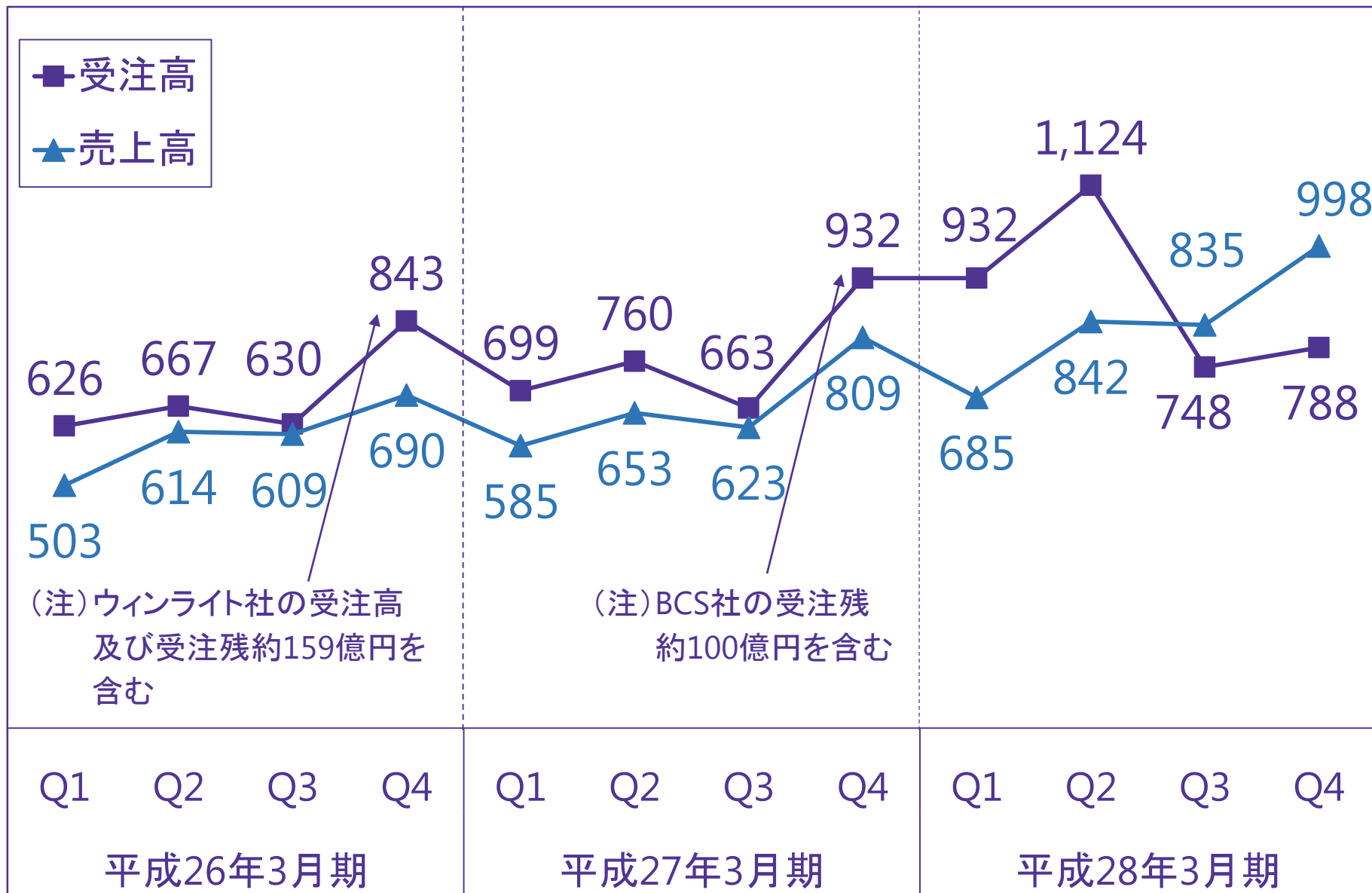
米国の空港向けサービス
専門会社ELSを連結

7%

14%

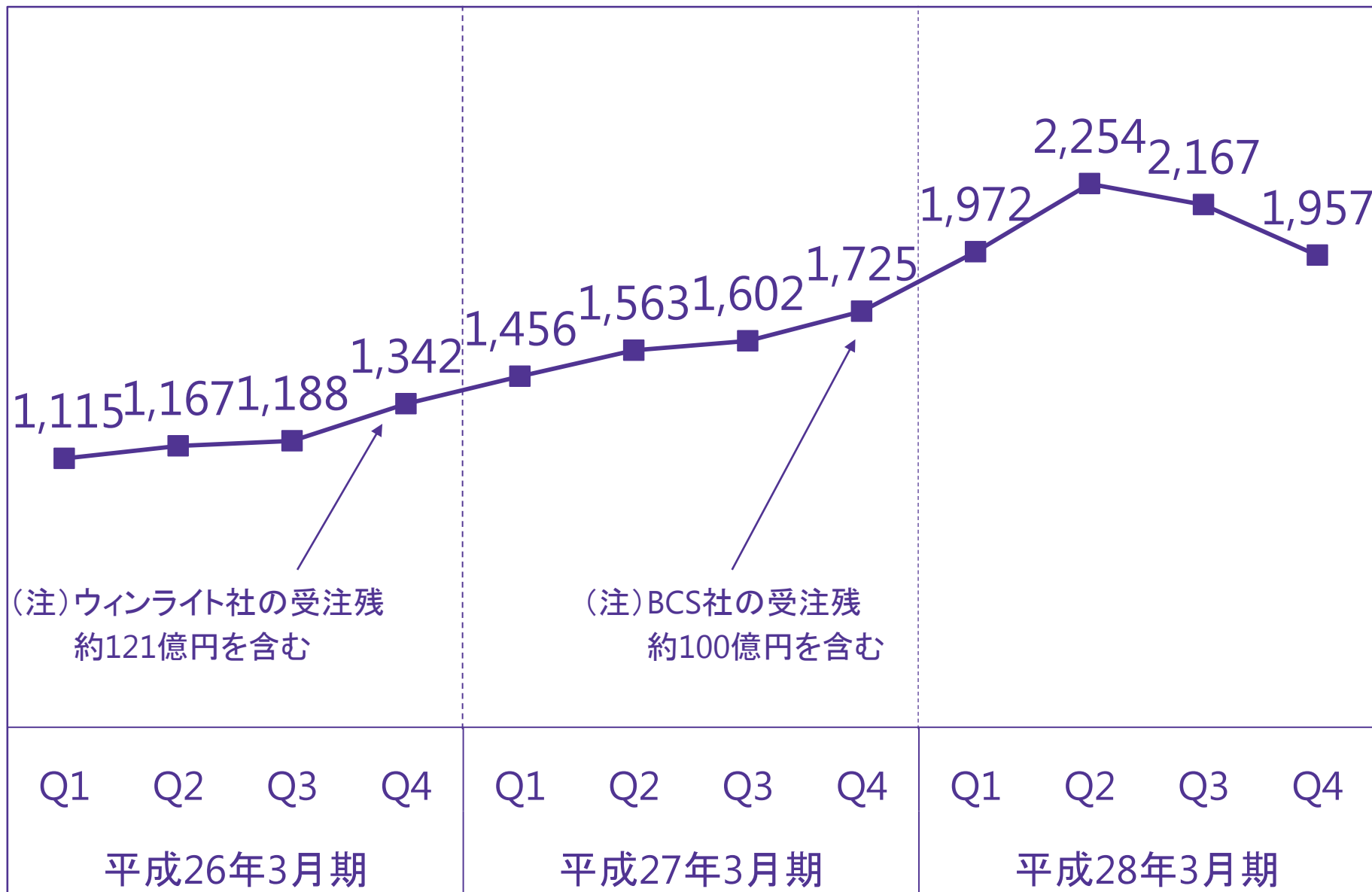
受注高、売上高の四半期ごとの推移

(億円/切捨て)



受注残の推移

(億円/切捨て)



平成29年3月期通期業績予想（連結）

DAIFUKU

16

（億円/切捨て）

	平成28年 3月期2Q	平成29年 3月期2Q	対前年 同期比	平成28年 3月期通期	平成29年 3月期通期	対前年 同期比
受注高	2,057.5	1,650	▲19.8%	3,594.2	3,300	▲8.2%
売上高	1,527.9	1,540	+0.8%	3,361.8	3,300	▲1.8%
営業利益	85.4	97	+13.5%	208.7	210	+0.6%
経常利益	91.3	98	+7.3%	219.9	215	▲2.3%
当期純利益※	61.8	70	+13.2%	136.5	145	+6.2%

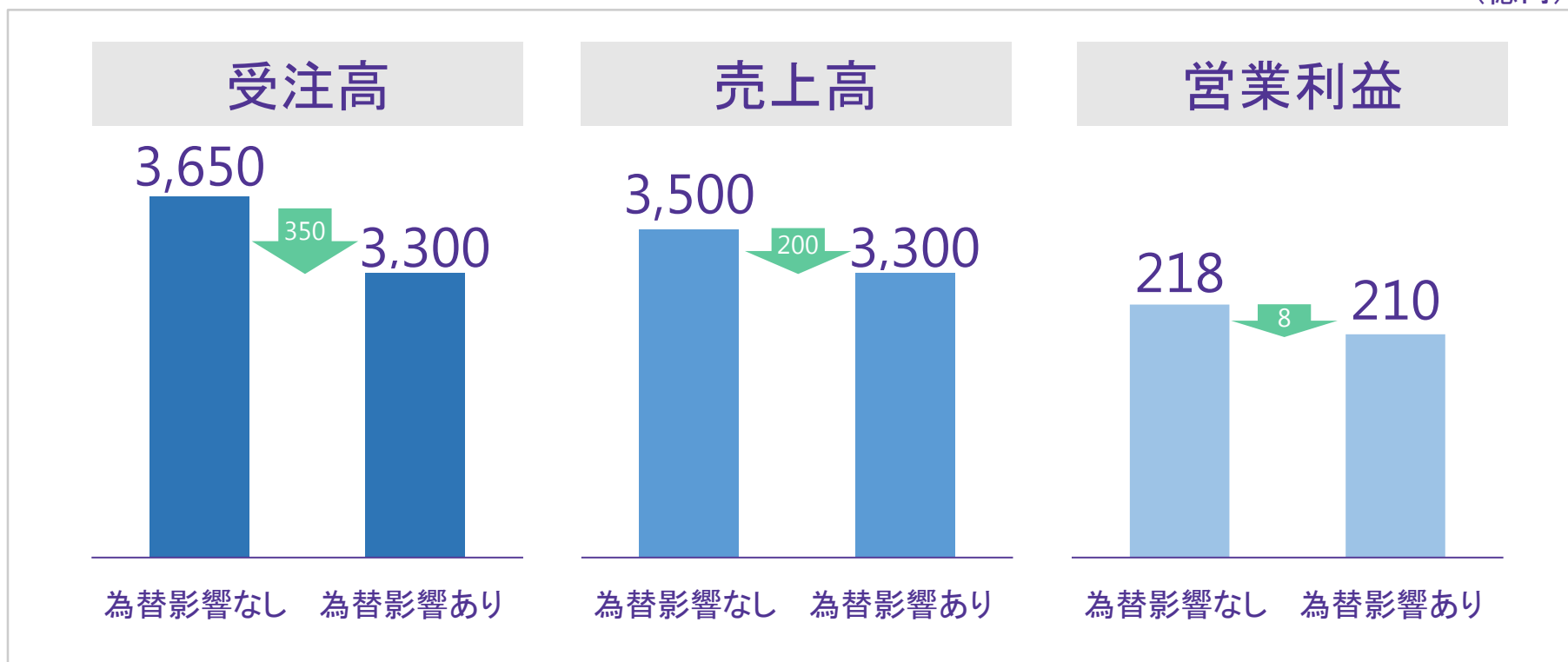
※ 会計基準等の改正に伴い、平成28年3月期より「親会社株主に帰属する当期純利益」となりました。

- 平成29年3月期は、為替の影響により受注350億円、売上200億円、営業利益8億円が下押しされる見込み

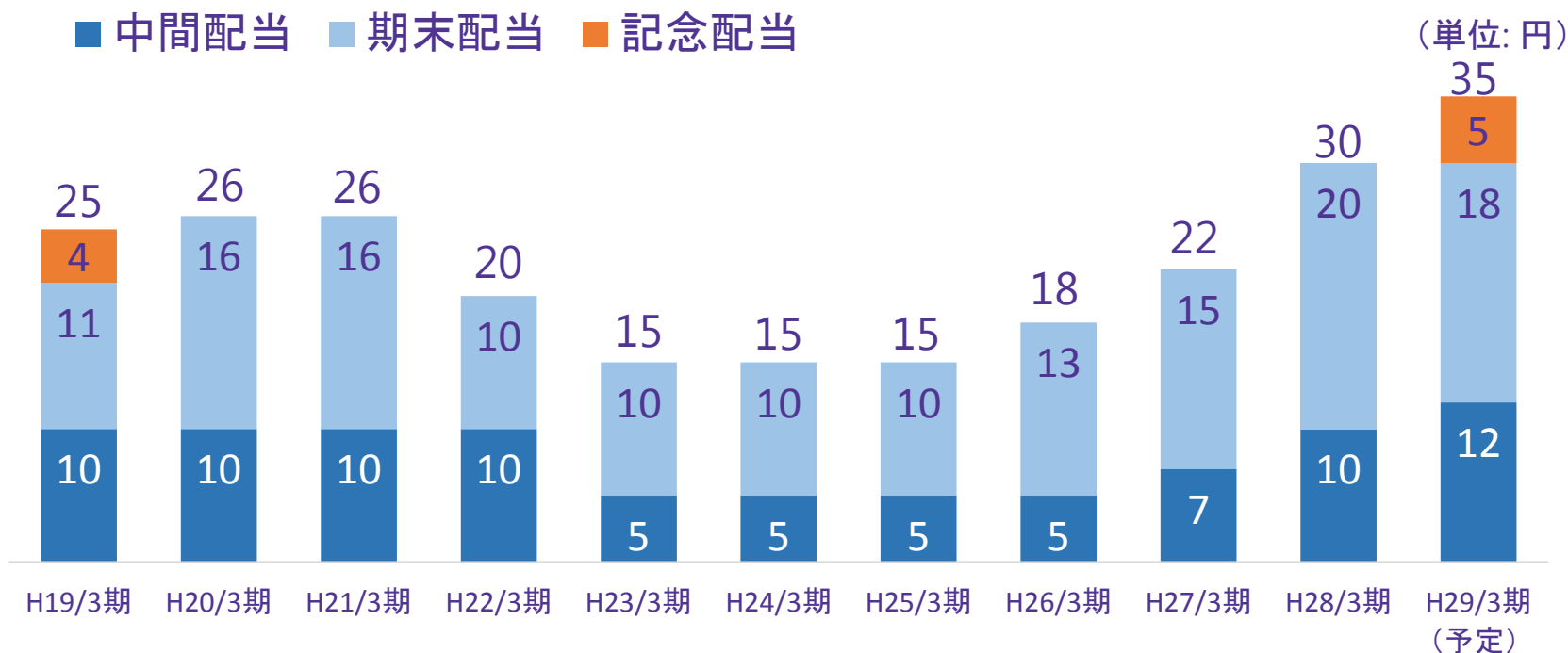
(為替レート)

	平成28/3期	平成29/3期(計画)
USドル	121.04円	110.00円

(億円)



- 平成28年3月期：年間配当30円（8円増配、配当性向25.3%）
中間配当：10円、期末配当：20円
- 平成29年3月期：年間配当35円予定（5円増配、配当性向29.4%）
中間配当：12円、期末配当：18円に加え、
創立80周年（平成29年5月）記念配当：5円



有利子負債、固定費、従業員の状況(連結)

DAIFUKU

19

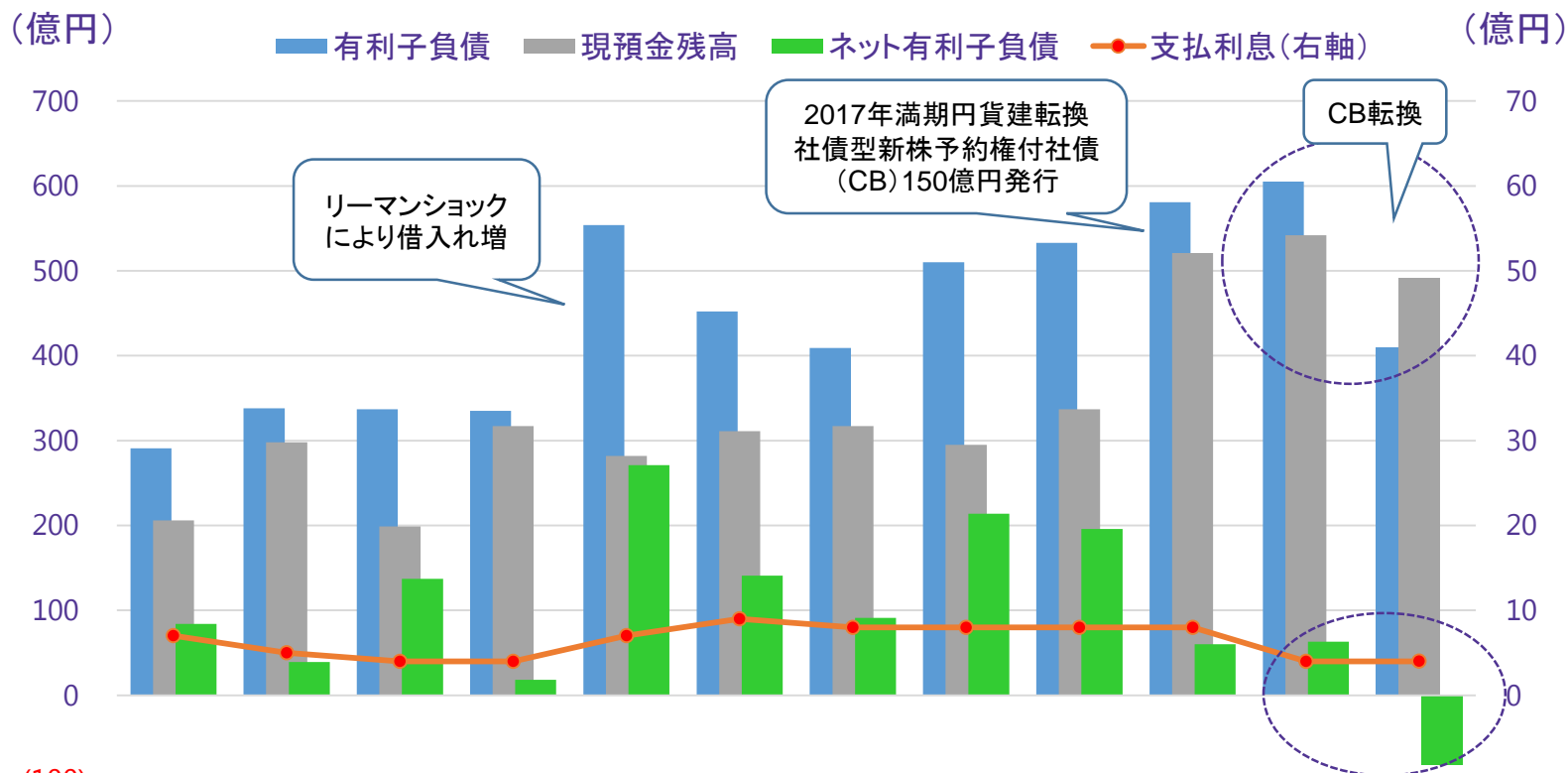
(億円/切捨て)

		平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期
	短期	70	129	87
	長期	511	476	322
有利子負債合計		581	605	409
D/Eレシオ※		0.60	0.56	0.32

固定費		805	831	973
	内、人件費	505	592	646
期末従業員数 (内、海外現地法人)		7,349人 (4,379)	7,746人 (4,760)	7,835人 (4,758)

※ D/Eレシオ＝有利子負債÷自己資本(期末)

■ CB転換で有利子負債減少、ネット有利子負債がマイナスに



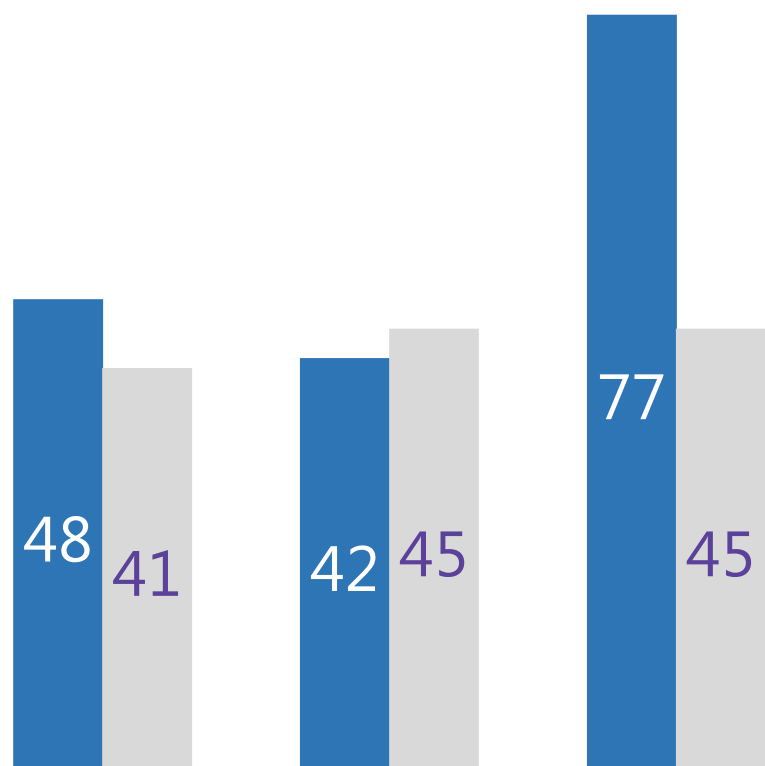
(100)

	H17/3	H18/3	H19/3	H20/3	H21/3	H22/3	H23/3	H24/3	H25/3	H26/3	H27/3	H28/3
有利子負債	291	338	337	335	554	452	409	510	533	581	605	409
現預金残高	206	298	199	317	282	311	317	295	337	521	542	491
ネット有利子負債	84	39	137	18	271	141	91	214	196	60	63	(82)
支払利息(右軸)	7	5	4	4	7	9	8	8	8	8	4	4

設備投資、減価償却費、研究開発費の状況(連結)

(億円/切捨て)

■ 設備投資 ■ 減価償却費



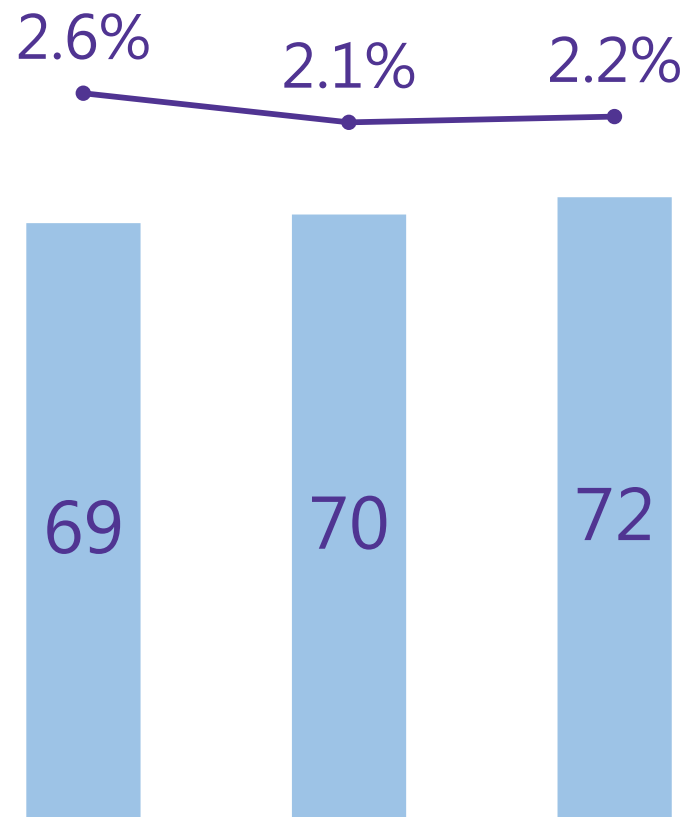
平成27年
3月期

平成28年
3月期

平成29年
3月期
(予想)

(億円/切捨て)

■ 研究開発費 ● 対売上高比率



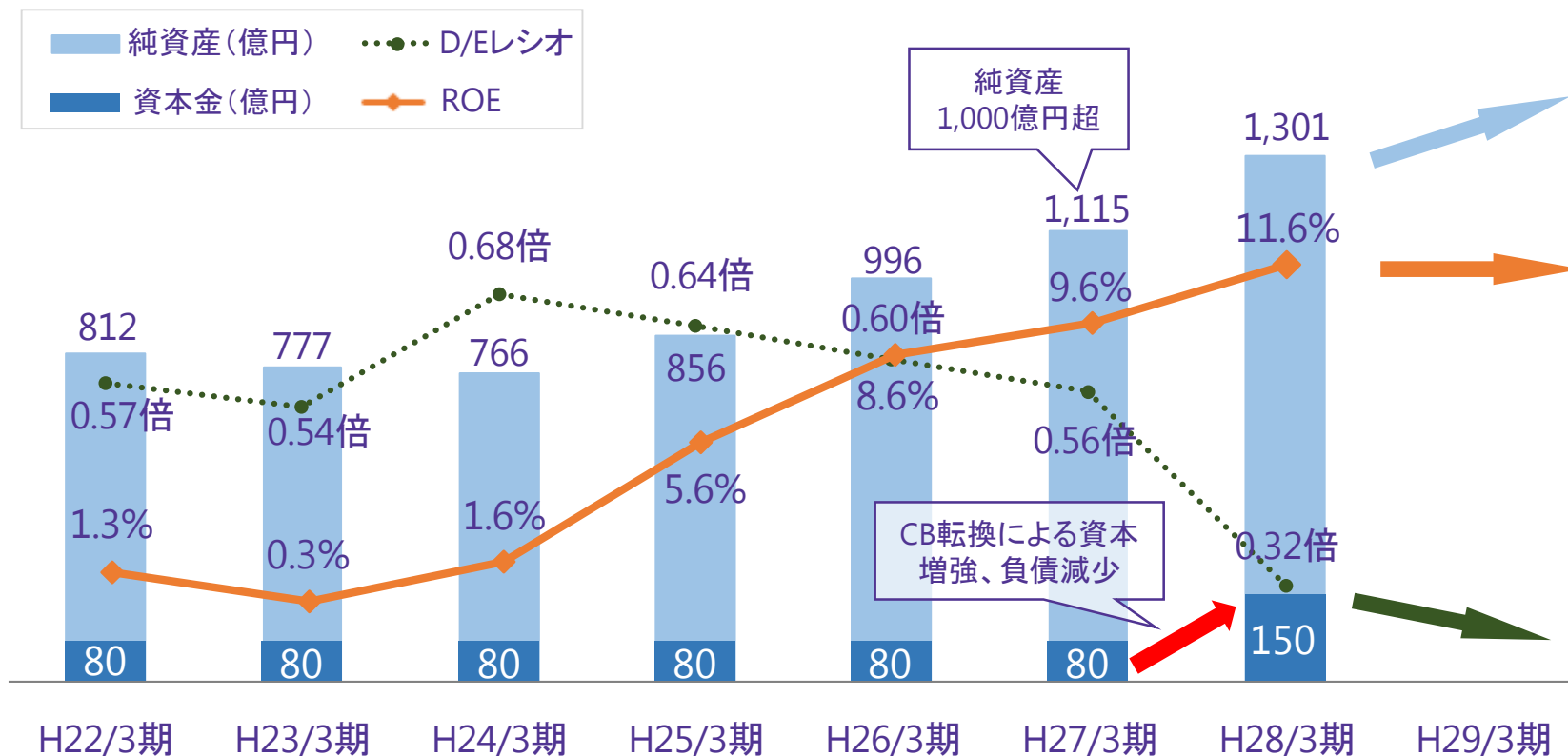
平成27年
3月期

平成28年
3月期

平成29年
3月期
(予想)

- 格付A維持・向上 ← 財務体質の強化：CB転換による資本増強
ROE 10%維持、D/ELレシオ 0.5以下

- JPX日経400入りを目指す ← ROE 3年平均、営業利益3年累積、時価総額の向上



※ D/ELレシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本 (期末)

※ ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本 (期首・期末平均) × 100



(計画)

- 売上高当期純利益率(収益性)が改善
- 総資産回転率(効率性)が改善
- ROEは当面10%以上の維持を目指す

	平成24/3期	平成25/3期	平成26/3期	平成27/3期	平成28/3期
ROE※1	1.6%	5.6%	8.6%	9.6%	11.6%
①売上高当期純利益率	0.62%	2.19%	3.20%	3.67%	4.06%
②総資産回転率※2	1.14倍	1.03倍	1.06倍	1.03倍	1.19倍
③財務レバレッジ※3	2.48倍	2.48倍	2.58倍	2.51倍	2.33倍

※1 ROE = ①売上高当期純利益率 × ②総資産回転率 × ③財務レバレッジ

※2 総資産回転率 = 売上高 ÷ 総資産 (期首・期末平均)

※3 財務レバレッジ = 総資産(期末) ÷ 自己資本(期末)

Value Innovation 2017



■ 「ダイフク コーポレートガバナンス・ガイドライン」を制定

当社グループは、コーポレートガバナンスのPDCAサイクル化（計画・実行・検証・改善）を図り、実効性を継続的に高めていく。

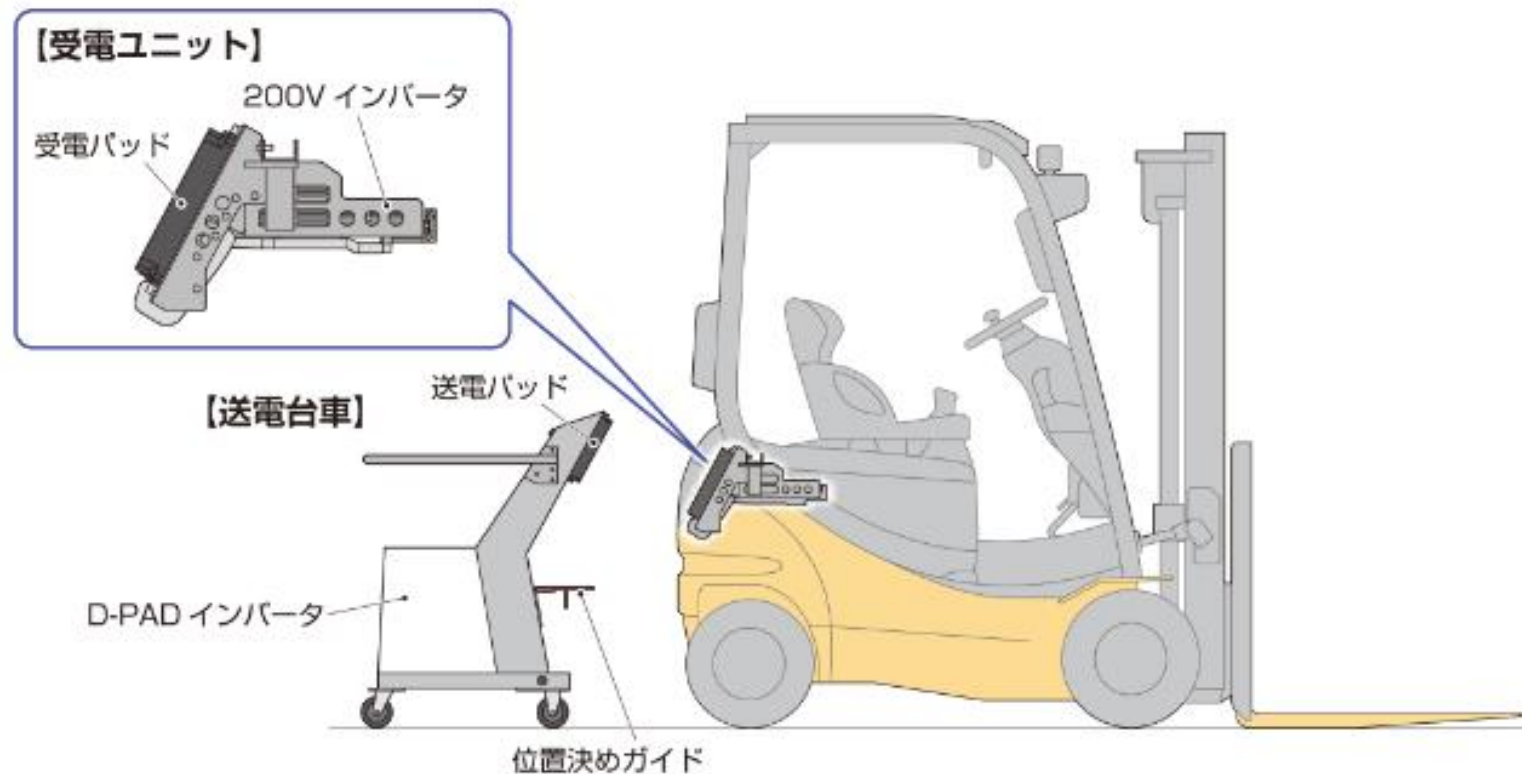
■ 社内取締役・執行役員報酬制度の改定を予定

業績連動報酬としての株式給付信託制度を導入。

平成28年6月の定時株主総会でご承認を得る予定。

※詳細につきましては、2016年5月12日のIRニュース(www.daifuku.com/jp/ir/news/2016/)
をご参照ください。

- 世界初、電動フォークリフト向け非接触充電システム「D-PAD」をデバイスビジネスの製品として市場に投入



DAIFUKU

Always an Edge Ahead

将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。